

# 城十紅葉十囃子 = 津軽の四季と文化が交錯する瞬間



## ご来場の皆様へ



本日は「ねぶた囃子でギネスに挑戦」イベントにご来場頂き、誠にありがとうございます。  
歴史と文化に溢れる街・津軽では、ねぶた囃子をはじめ様々な伝統芸能が生み出され受け継がれてきました。津軽の伝統芸能は国内外で高い評価を得ており、その素晴らしい津軽の伝統芸能を絶やす事のなく後世に伝えるために、地元・津軽の有志たちが集まり、「津軽横笛ギネス実行委員会」を設立いたしました。当委員会では、弘前城築城400年の記念年である2011年(平成23年)に、ねぶた囃子による「笛合同演奏者数」のギネス記録に挑戦することを計画しております。その前年にあたる平成22年、ギネス本挑戦へ向けて、津軽の多くの囃子方が一致団結できるよう、本イベントを開催いたしました。本イベントを機会に、より多くの方々に津軽の伝統芸能の魅力を知って頂ければ幸いです。

## hatao氏 (万笛博覧会プロデューサー)からの推薦文



「ねぶた囃子でギネスに挑戦」プロジェクトを推薦します。  
私はケルト音楽の専門家として、イギリスやアイルランドなどに伝わる伝統音楽を学ぶためにヨーロッパの田舎を度々訪れています。2009年夏、横笛普及プロジェクトに招かれ津軽で公演をし、多くの若手の横笛奏者と交流をさせて頂く機会に恵まれました。我が国でも素晴らしい伝統音楽が、精神的、技術的に極めて高いレベルで継承され、若い世代が担い手となっていることを目の当たりにし、ただ驚くばかりでした。音楽を生活の一部として向き合う姿勢は、私がアイルランドで見た音楽の在り方と重なります。世界がひとつの色に染まり均質化して行く現代、失われつつある地域の特質が見直されています。津軽が持つ言葉や暮らし、伝統文化に培われた強靱な生命力は、都市部に生まれ育ちふるさを持たない私にとって、まぶしいほどに輝いています。横笛を鍵として地域が一丸となりひとつの目標に挑戦する今回のプロジェクトは、音楽のみに留まらず、特色に富んだ我が国の地域文化再生の最先端をいく試みなのです。この挑戦を機に、日本各地、また世界から津軽の伝統文化が注目される日が来ることを、確信しています。

万笛博覧会プロデューサー ケルトの笛演奏家 hatao

## イベントスケジュール

9:45~10:00 **ねぶた囃子でギネスに挑戦 開会セレモニー**  
本イベント開催にあたり、オープニングを飾る開会セレモニーを行います。

10:00~14:00 **津軽の登山囃子NO.1を決める! 登山囃子コンテスト**  
津軽を代表する伝統芸能「登山囃子」。その登山囃子をこよなく愛する各地域の登山囃子団体が集結し「おらほが一番!」を目指すべく、気合の入った登山囃子を奏でてくれます。NO.1に輝くのは、いったいどの登山囃子か? ぜひ地元の登山囃子を応援して下さい。  
※コンテストの結果発表・表彰は、ねぶた囃子大合奏終了後の15:15頃を予定しております。  
主催:お山参詣登山囃子保存会

14:30~15:10 **みんなで津軽の誇りを見せよう! ねぶた囃子大合奏**  
今回のメインイベントでもある「ねぶた囃子大合奏」。子供から年配の方まで、ねぶた囃子を吹ける方であれば誰でも参加できます。大多数によるねぶた囃子の演奏は迫力満点になること間違いなし。来年のギネス本挑戦に向けて、津軽の笛吹きが一致団結する姿を見せてくれるはず。演奏は15:00からの約5分間を予定しております。(今回はギネス挑戦対象の演奏ではありません)

15:30~16:30 **次世代へ繋ぐ我々のメッセージ 津軽 民俗芸術祭**  
津軽の笛と囃子文化を再発見するスペシャルステージ!  
「錦風流尺八」や「松森町津軽獅子舞」など、昔から津軽で伝え継がれてきた伝統芸能が披露されます。青森市からもねぶた囃子「わの會」が参加。また「登山囃子コンテスト」に出場した登山囃子団体も再び登場します。これだけの津軽の伝統芸能が一堂に会するのは珍しく、まさに夢のようなステージをお楽しみ頂けます。

## ねぶた囃子大合奏 ~弘前城築城400年を囃子で祝う~

津軽の人々を長きに渡り見守ってきた弘前城は、慶長16年(1611年)に津軽家2代目藩主信枚の手によって完成しました。築城以来5層の天守の落雷消失や本丸御殿の解体など、幾多の変遷があったものの、今もなお3重の濠や、天守を含む4つの櫓、5つの城門などが現存する貴重な文化遺産であり、来年の平成23年(2011年)には築城400年の節目を迎えます。弘前城築城400年を祝うにあたり、津軽の人々が昔から慣れ親しんできた郷土芸能「ねぶた囃子」の演奏が最もふさわしい方法であると考えました。年代・性別問わず、津軽の囃子方が一堂に集結し、盛大に祝うために、「笛合同演奏者数」のギネス記録への挑戦も予定しております。本イベントでは、来年の本挑戦へ向け、心をつなげる準備段階として、各地から集まった囃子方がねぶた囃子の大合奏を行います。その迫力をどうぞ堪能ください。



## お山参詣 登山囃子

津軽のシンボルとして古くから人々に崇められてきた岩木山。旧暦8月1日に、集団で岩木山に登り、ご来光を拝む伝統行事「お山参詣」は、五穀豊穡と家内安全を祈願して行われる津軽地域最大の秋祭りです。津軽一円の村落や地区から集まった人々が、笛、太鼓、手平鉦(てびらがね)によって奏でられる登山囃子に合わせて、「サイギ、サイギ…」と唱えながら徒歩で岩木山神社へ向かい、供物や幟などを奉納した後、旧暦8月1日のご来光を拝むために岩木山頂を目指します。ご来光を拝んだ後は、下山して無事登拝したことを岩木山神社に報告。下山囃子に合わせ、「バダラ」と呼ばれる踊りをしながら帰途に着きます。旧暦8月1日のご来光に合わせて、前後3日間の日程で行われる「お山参詣」は、日本の山岳信仰の典型のひとつとされる岩木山信仰の中核であり、重要無形民俗文化財に指定されています。本日の「登山囃子コンテスト」では、津軽各地から集まった登山囃子団体が、個性溢れる囃子を演奏いたします。



## 津軽民俗芸術祭 演目紹介

### 松森町津軽獅子舞



熊獅子の系統か鹿獅子の系統か不明である。舞は男獅子、中獅子、女獅子各1人のほか、番獅子2人とオカシコ1人で構成される。男獅子、中獅子、女獅子は腹に小太鼓をつけ、番獅子は、大太鼓をつける。囃子方は笛だけで構成される。曲目には「街道渡りの曲」「山越の曲」「橋渡りの曲」「女獅子隠しの曲」がある。創始には諸説あるが、藩の庇護を受け、公認獅子舞として藩主上覧、八幡宮祭礼参加などの名誉を保持し今日に伝えられている。

### 錦風流尺八



根笹派(ねざさは)錦風流(きんぷうりゅう)尺八は九代藩主寧親(やすちか)公も愛好し「御家流」とも呼ばれて津軽藩の庇護の下で伝承された。演奏法は「コミ吹き」「チギリ」という奏法。演奏曲「調」は伴建之師作といわれ、偉大な名手であった事を物語るものとして誓願寺に立派な追善掲額がある。連絡先「津軽錦風流尺八会」藤田竹心TEL33-3105 平尾鶴鵬TEL36-5691

### 青森ねぶた囃子「わの會」



ねぶた囃子の演奏を中心に活動する祭好団体。青森ねぶた祭ではパナソニックねぶた会の囃子方を長年担当し、平成22年商工会議所会頭賞(総合4位)を獲得。ねぶた囃子の他に、お山参詣第65回県下登山囃子奉納本大会では松組優勝と竹組準優勝の組を輩出。また、活動の領域は祭囃子の演奏だけにとどまらず、青森市善知鳥神社神輿渡御や十和田市秋祭り中央町内会わ組神輿渡御にも毎年参加。